

台北におけるCOVID-19パンデミック後の 慢性感染症（HIV、結核）の影響

第19回アジア感染症対策会議

・発表者:王建春 医師 (Chien Chun, Wang, M.D.)

台北市立病院 昆明院区 感染症科 部長

・台北市立病院 昆明予防・管理センター 所長

- COVID-19パンデミックの期間中、中央流行疫情指揮センター(CECC)は台北市の感染警戒レベルを引き上げ、地域内感染の増加に対応するために全国的な制限や対策を強化した。
- COVID-19パンデミック期間中の制限措置により、慢性感染症(HIV、結核)の新規感染者数は減少した。しかし、感染予防政策の規制緩和後、この現象は再び増加した。



台北市

- 12の行政区
- 面積: 271.8 km²
- 人口: 251万人

台北市立病院

- 地域型の教育病院
- 総病床数: 2,889床
- 総職員数: 6,231人

台北市政府

台北市衛生局

台北市立病院

中興 (Zhongxing) 分院

仁愛 (Renai) 分院

陽明 (Yangming) 分院

忠孝 (Zhongxiao) 分院

和平婦幼 (Heping Fuyou) 分院

松德 (Songde) 分院

林森 (Linsen)、中医、
昆明 (Kunming) 分院

昆明防治センター
(Kunming
Prevention &
Control Center)

臨床サービス

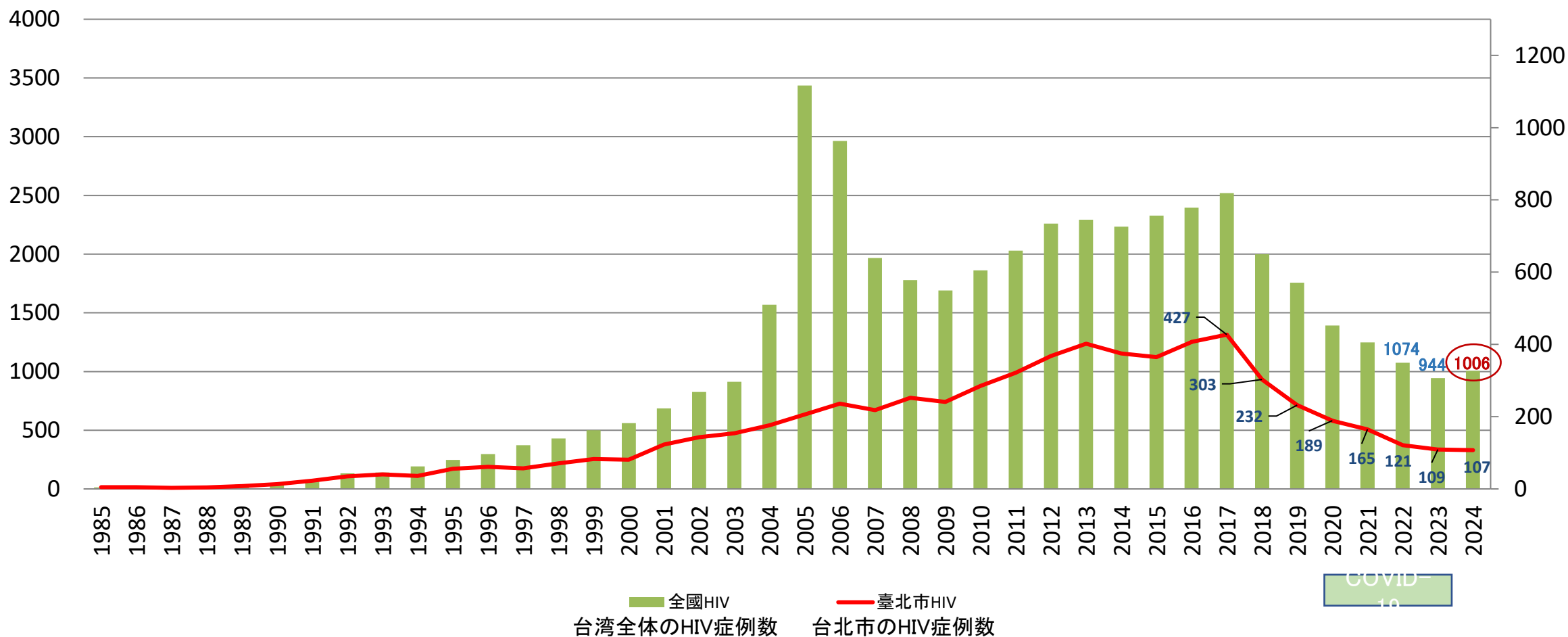
公衆衛生サービス



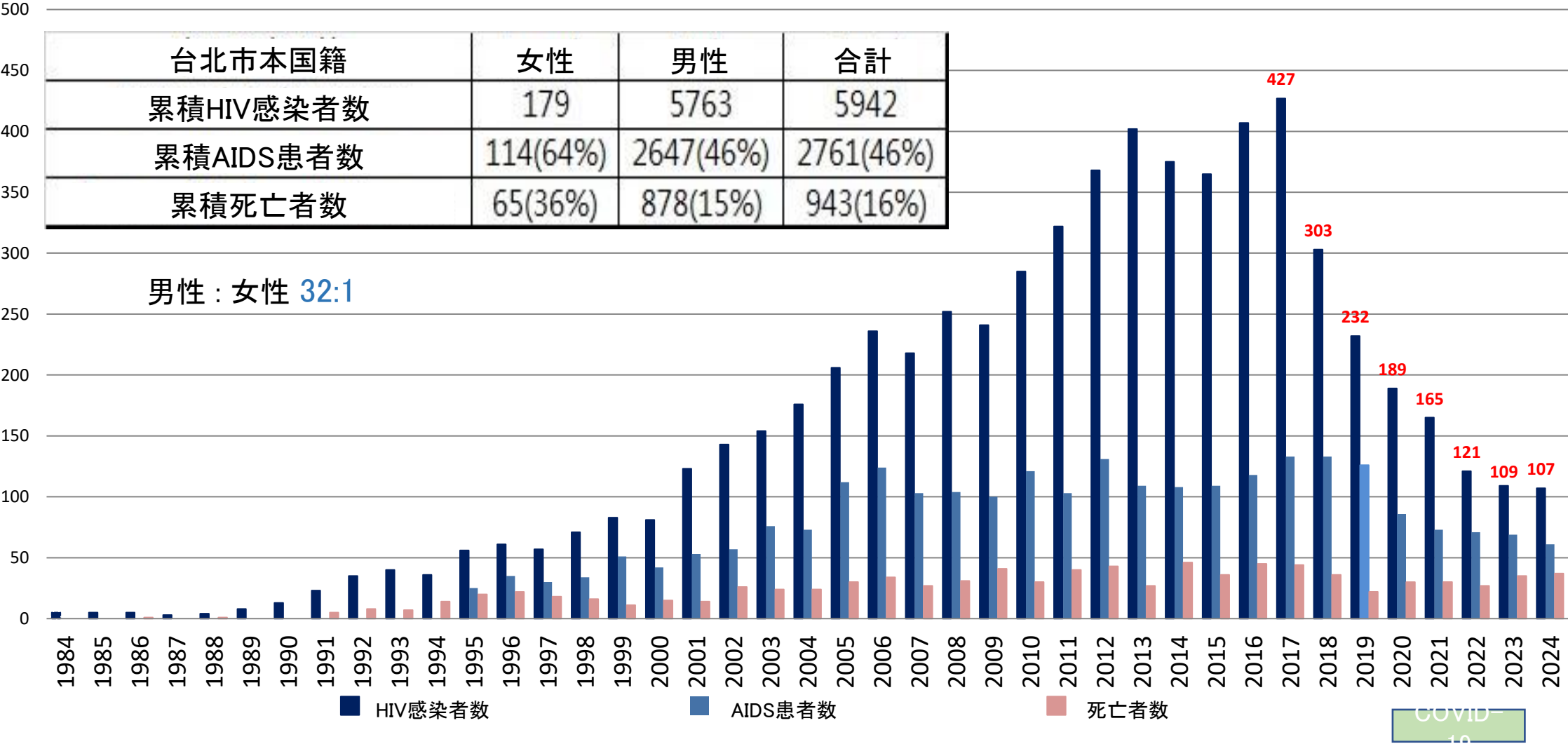
台北市の性病・HIV専門クリニック
• 1968年: 最初の性病 (STD) クリニックを開設
• 1988年: HIV/STDクリニックを開設

台北市における新規HIV診断件数（1984-2024年）

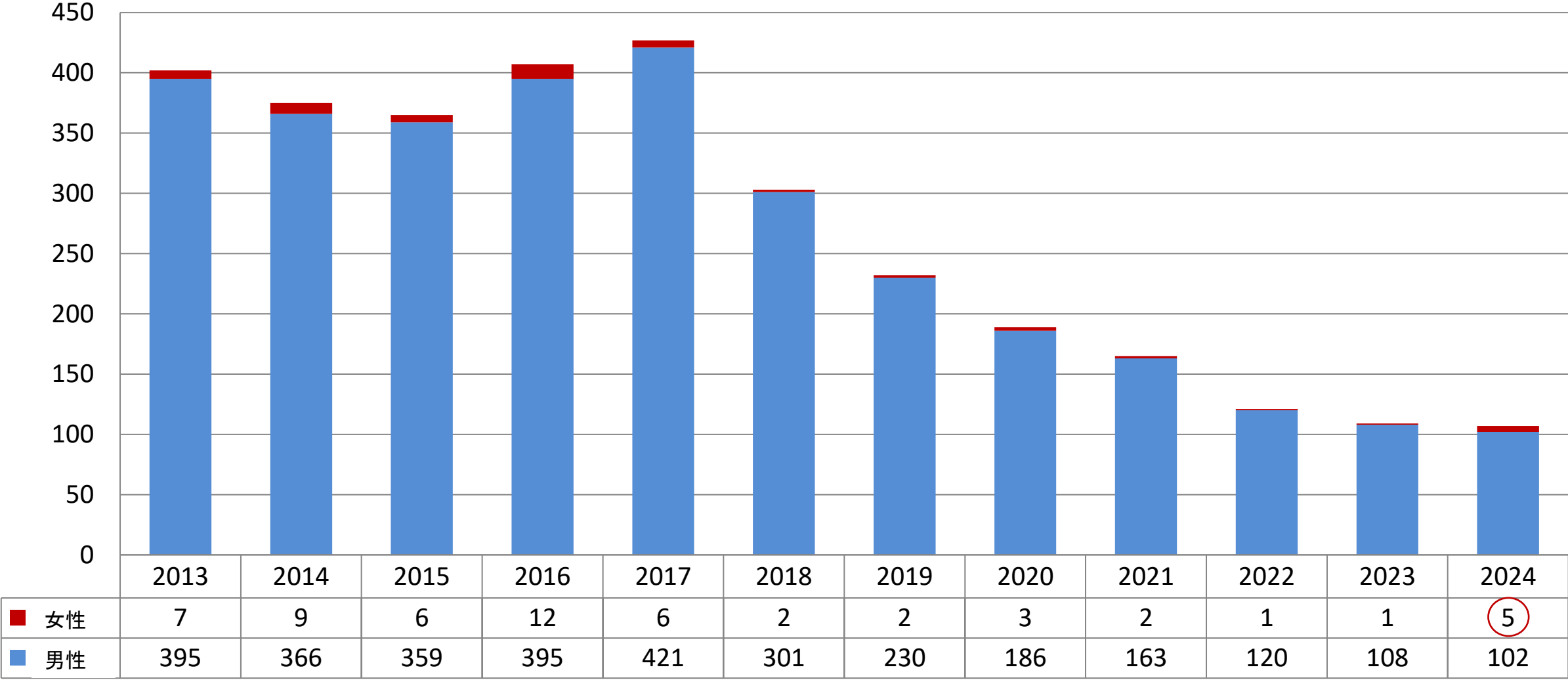
予防としての治療、早期の高活性抗レトロウイルス療法（HAART）、曝露前予防（PrEP）



台北市におけるHIVの疫学曲線（1984-2024年）



2013年～2024年における台北市のHIV感染者の性別分布

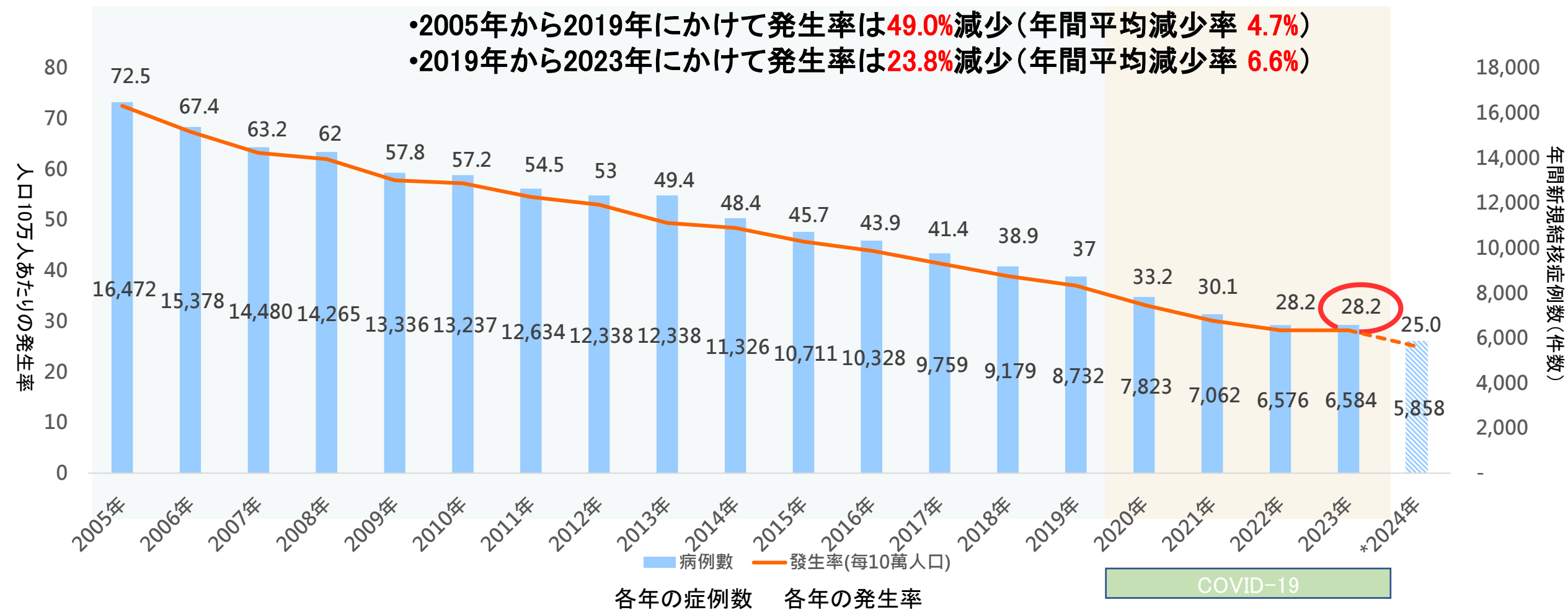


COVID-19パンデミック後のHIV女性新規感染者の増加

- 2024年の台北市におけるHIV女性新規感染者は5例（2022年・2023年はそれぞれ1例のみ）
- 全員が40歳以上であり、大半が中国本土からの移民と考えられる。また、性労働者の可能性が疑われる。

	年齢		婚姻状況	
ケース1	40	AIDS診断時	未婚	
ケース2	65	AIDS診断時	離婚	中国本土からの移民
ケース3	52		離婚	中国本土からの移民
ケース4	57		離婚	中国本土からの移民
ケース5	55	AIDS診断時	離婚	中国本土からの移民

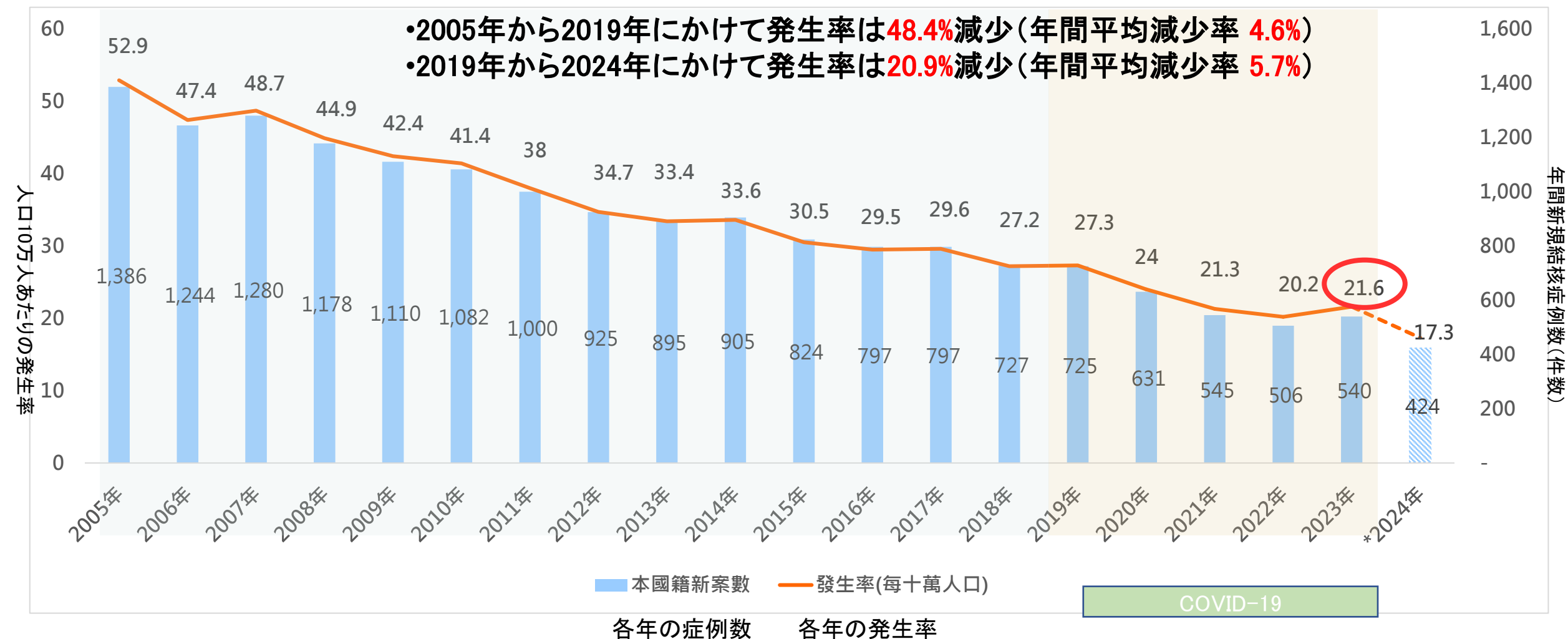
台湾における結核(TB)の発生率



2024年の結核の発生率および確定症例数は推定値です。 4

データ出典: 結核追跡管理システム

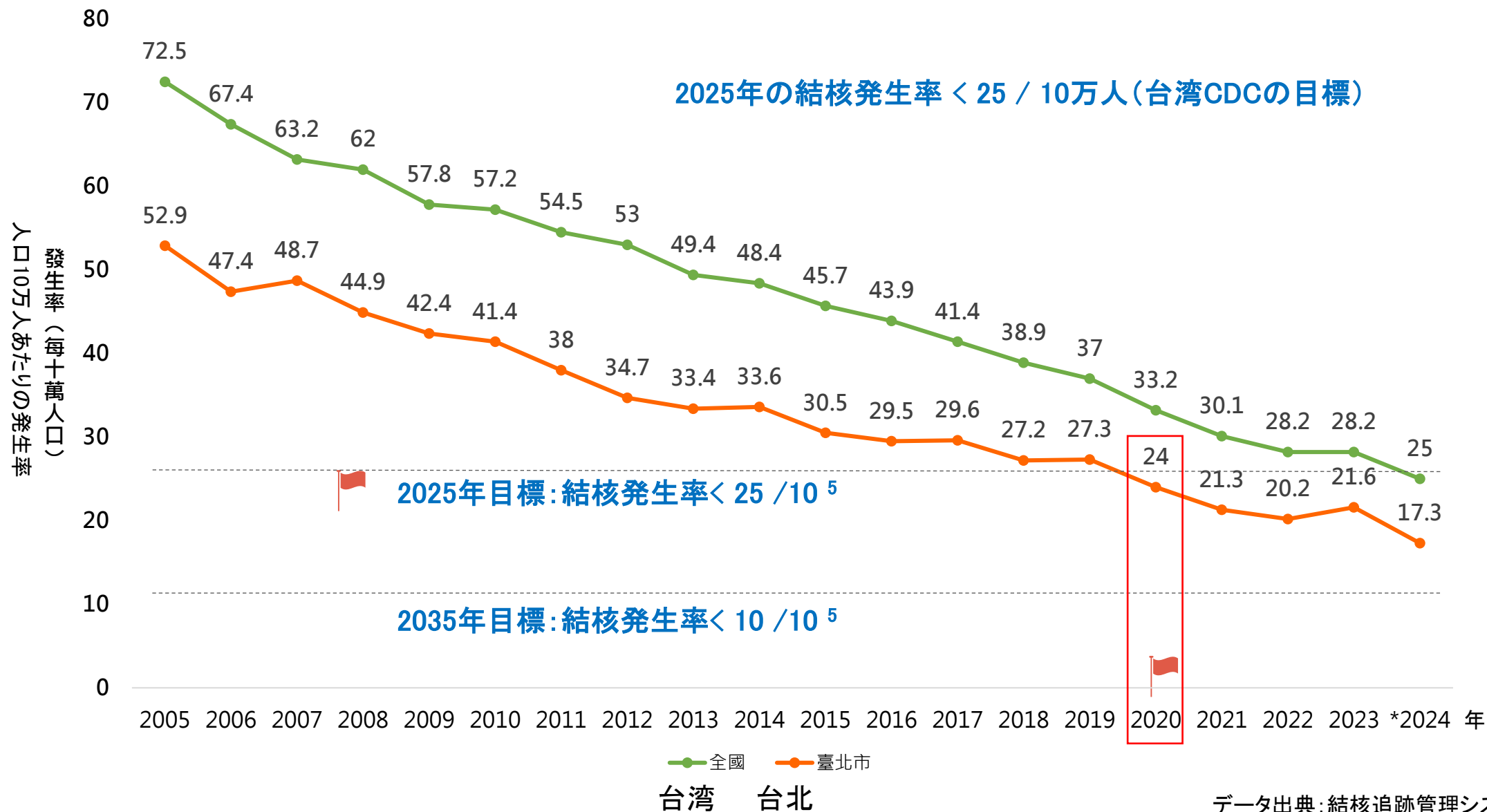
台北における結核(TB)発生率



2024年の結核の発生率および確定症例数は推定値です。

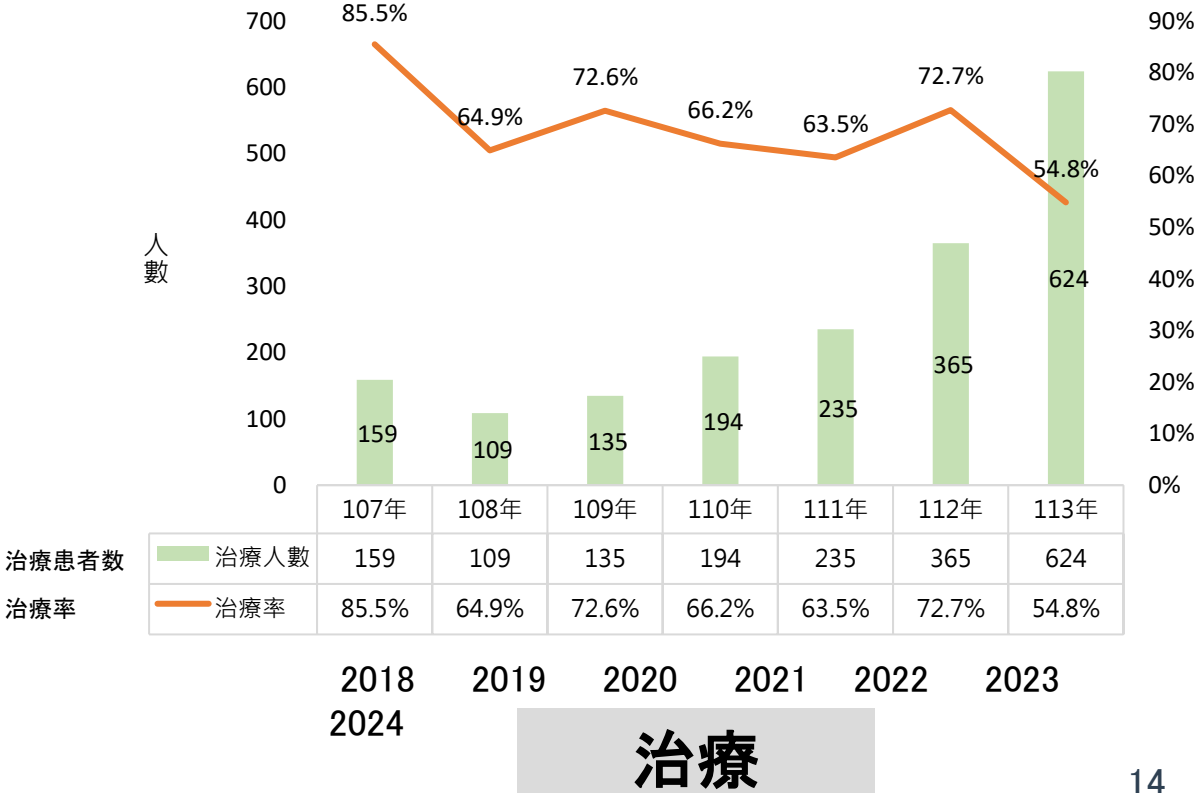
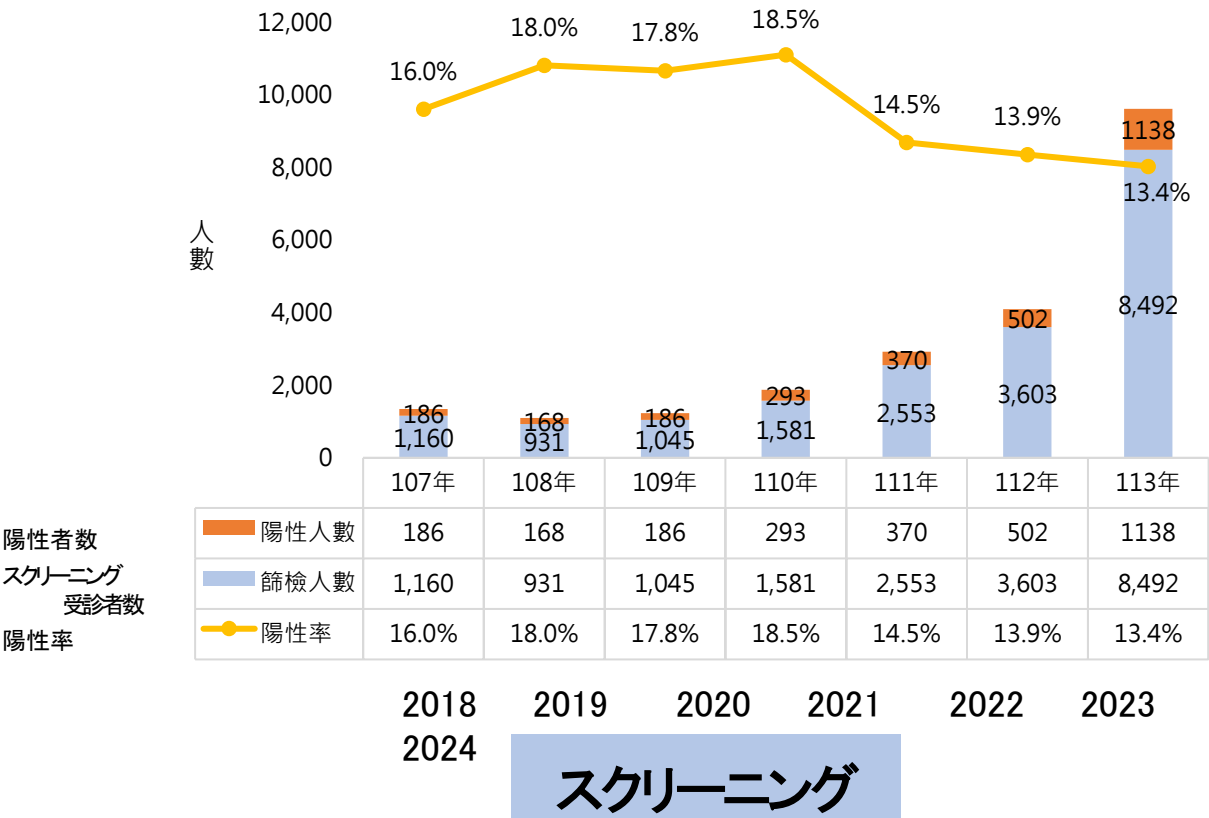
データ出典: 結核追跡管理システム

台北および台湾における結核(TB)発生率



潜在性結核感染（LTBI）のスクリーニングと治療

潜在性結核感染の陽性率は約12～18%であり、2024年にはスクリーニングおよび治療症例数が増加する見込み。（2018～2023年の治療症例総数：1,197件）



まとめ

- COVID-19パンデミック中の予防策は、個人間の接触を制限し、HIVや結核(TB)のさらなる感染拡大を防ぐ一方で、スクリーニングや診断の機会を制限する可能性もある。
- 予防策の緩和後、新規症例は慢性疾患の経過によって徐々に増加している。
- HIVおよび結核の予防・制御戦略を継続し、新規症例の疫学的動向を観察することが重要である。



ご清聴ありがとうございました

